

ぎょう じ しょく

行事食について知ろう

せつぶん
～節分～



せつぶん 節分とは、「季節き せつを分わける」という意味で、春はるの始はじまりである「立りっしゅん 春まへ ひ」の前ひの日（2月3日）のことをいいます。
むかし 昔から、季節き せつの変わり目には「おに」がででるといわれていて、「おに」を追おいはらうために、豆まめまきなどを行おこないます。

こんだてめい
【献立名】いわしのかば焼きや丼どん・牛乳ぎゅうにゅう・なばなのおひたし・かしわ汁じる・節分豆せつぶんまめ・かば焼きのたれや

せつぶん 節分の「おに」

せつぶん 節分せつぶんでいう「おに」とは、「病気びょう ぎ」や「災わざわい」のことです。



おにが苦手な「豆」を食たべたり、「いわし」をつるしたりして、おにを追おいはらいます。

下のたべまるをタップまたは二次元コード
を読み込んでチャレンジしてみよう



せつ ぶん かん けい た もの 節分に関する食べ物



だい ず
大豆（節分豆）

せつぶんまめ 節分豆を「おには外、福は内」と
いってまきます。

ふくまめ い せつぶんまめ じ ぶん
「福豆」と言われる節分豆を自分の
とし かず た ねん しあわ
年の数食することで、1年の幸 せ
からだ はい ねが
が体に入ってくるように願います。



いわし

えだ や
ひいらぎの枝に、焼いたいわし
あたま
の頭をさした「ひいらぎいわし」

いえ げんかん
を家の玄関などにつるし、おにを
お
追いはらいます。



え ほう ま
恵方巻き

ま き とし え ほう えん ぎ
巻きずしを切らずに、その年の恵方（縁起の
ほうがく）をむいて、しゃべらないで食べます。

ことし え ほう とう ほう とう
今年の恵方は「東北東」です。

ま き えん まわ ひと
巻きずしを切らないのは、「縁（周りの人との
つながり）を切らないため」といわれています。